ハビタット福岡市民の会　ニュースレター　発行 ２００６年7月6日

Citizens Net for UN Habitat Fukuoka
ハビタット福岡市民の会

１８号の主な内容
■世界ハビタットデー2006 のテーマ決まる
■国際機関で働くためのキャリア･フォーラム
■国連ハビタット福岡事務所協力委員会
■職員紹介
■今後の活動予定　など

第18号
http://cnhf.npgo.jp

■世界ハビタット・デー２００６のテーマ決まる

“Cities, magnets of hope”

～都市：希望の磁石（仮題）～

国連は、人間居住の状態や、適切な住居を得るという全ての人間の基本的な権利について考える日として、毎年１０月の最初の月曜日を世界ハビタット・デーに制定しました。　それはまた、世界中の人々に人間の居住地の将来について共通の責任を持つことを気づかせるためでもあります。

２００６年１０月２日（月曜日）の今年の世界ハビタットデーのテーマは “Cities, magnets of hope（都市：希望の磁石（仮題））” であります。国連によって採用されたこのテーマは、人類史上、その多くが町や都市に居を構えているのが世界的な現状であることを、我々全てに思い起こさせます。　１９５０年には世界の人口の３分の１は都市に住んでいました。５０年後には、２分の１になり、２０５０年までには３分の２即ち６０億人にまで増大していくことでしょう。都市は今や人類の半分の居住地であります。

世界は益々都市化している為、政策立案者が国家発展の促進剤として都市の力を理解することは不可欠なことです。　都市は全ての居住者に、その生活条件を与えることができなければなりません。　富裕層であれ貧困層であれ、誰でも皆、都市に住めること、そして適切な生活環境、清浄な水、衛生施設、輸送機関、電気及びその他のサービスを享受する権利を持っています。これにいかにうまく対処していくかは、ほぼ間違いなく、我々人類が直面する最も大きな課題の１つであります。　（佐竹）

■公開フォーラム

国際機関で働くための キャリア・フォーラム

国連ハビタット福岡事務所・外務省国際機関人事センター合同主催で、「国際機関で働くためのキャリア・フォーラム」が３月１９日（日）、アクロス福岡７階大会議室にて開催されました。

外務省国際機関人事センター室長の稲賀淑子氏による基調講演が行われ、国際公務員になるためには、国連職員採用競争試験や、ヤングプロフェッショナルプログラムといった方法のほか、外務省の派遣制度として AE/JPO 等派遣制度があることが説明されました。

基調講演の後、パネルディスカッションが行われました。コーディネータとして日本経済新聞の原田勝弘氏が参加され、パネリストとして九州大学大学院助教授の小松太郎氏、JICA 九州・業務第二チームの井上達昭氏、国連ハビタット・人間居住専門官の佐藤摩利子氏がそれぞれ、今までの経験やキャリアを通して、現在どのような活動を行なっているかを語られました。小松氏は戦車が今なお残るコソボの町を紹介され、また芸術学校の演劇部にて共同でカリキュラムを作ったことなど述べられました。

稲賀氏は、「キャリアというのはまわり道があります。専門性にこだわると難しくなるのではないでしょうか。柔軟性が必要です。」と述べられました。また「ともに生きるという共存意識をもつことが大切です。」とまとめられました。

今回のフォーラムは、会場が満員になるくらい、大変多くの学生の方々の参加があり、また、フォーラム終了後に設けられた個人Ｑ＆Ａコーナーにも多くの方々の参加がありました。国際機関で働くことに対して、多くの方々が高い関心を持っていらっしゃると思えるものでした。　（諸藤）

基調講演をされる稲賀淑子氏

パネルディスカッションの様子

熱心にフォーラムを聴く参加者の皆さん

パネリストの方との意見交換の様子

■ハビタット協力委員会

２００６年６月２日（金）福岡市中央区白金の福岡県知事公舎にて、国連ハビタット福岡事務所協力委員会・懇親会が開催されました。

協力委員会の川合会長、麻生福岡県知事、山崎福岡市長をはじめ、国連ハビタット親善大使のマリ・クリスティーヌさん、国連ハビタット福岡事務所の野田特別顧問、ヤン所長代行など職員のみなさん、など関係者約６０名が参加しました。ハビタット福岡市民の会からは、牟田代表が出席しました。

委員会において、国連ハビタット福岡事務所の活動が報告されたあと、庭園において、国連ハビタット福岡事務所を囲むタベが催されました。

牟田　マリ　山崎福岡市長　　麻生県知事

野田特別顧問の挨拶などに続き、７月に国連ハビタット.ジュネーブ事務所へ赴任する、佐藤摩利子さんが挨拶に立ち、ハビタット福岡事務所での８年間の思い出などを語りました。（牟田）

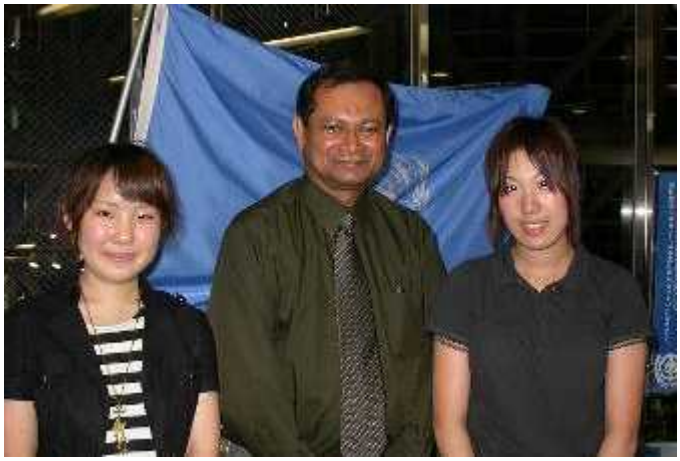
挨拶する佐藤摩利子人間居住専門官

■ハビタット福岡事務所職員紹介

Mr. Lalith Lankatilleke (Sri Lanka)
Senior Human Settlement Adviser

１．趣味は？
音楽鑑賞で、Pop Music が好きです。
２．尊敬している人は？
ネルソン・マンデラさんです。
３．好きな食べ物は？
何でも好きです。
日本食も大好きです。
４．好きな場所は？
もちろん福岡です。
５．１日のうち、プライベートの時間はどのくらいありますか？
時差の関係もあり、１日の大半は仕事です。
６．出身国と日本の違いは？
スリランカ⇒民族紛争が続いている、貧しい国
日本⇒リッチな国、経済力や外交政策などいろんな意味での大国
７．出身国の自慢は？
スリランカには２５５０年という記録にも残された長い歴史があり、古代文化が深いところです。
８．どうして国連職員になろうと思ったのですか？
スリランカでは貧しい人たちがコロンボのスラム街に多く生活しています。その苦境な生活に触発され、建築家の資格を得た後、「自分は建築家として豪華な家を建てることに向いていない、たくさんの人のために自分の知識を使いたい」と考えるようになったからです。
９．仕事内容、またその魅力は？
人々の生活の基盤となる住居、収入、衛生、栄養面に住居権や人権を重視する政策を加え国や政府に働きかけています。その中の一例ですが、共同でスリランカに女性基金を立ち上げ、現在、メンバーは３万５０００人にも及んでいます。メンバーが金を貯め、その中でビジネスのための資金などの貸し借りを行います。開発的な目線でローンを貸し出していくというこの事業は起業してから１５年間続いています。アフガニスタンやスリランカ、インドネシアなどの地域を中心に自己開発的なプログラムを進めています。この仕事の魅力は、貧しい人々を助けられること、人に尽くすことです。
９．学生時代には何を考えていたのですか？
大学では人のために働いていました。
１０.日本の常任理事国入りをどう考えますか？
個人的には強く歓迎しており、他の国を支援すべきです。多くの開発途上国も日本の常任理事国入りを支持しているはずです。問題は国連改革で、それがうまくいけば日本は常任理事国入り出来るかもしれません。
１１．世界から見た日本の役割は？
日本は平和的な考えが強い国であり、世界でも評価されています。平和構築を推進する政策を生かしながら、多くの国を紛争の状態から民主主義にもっていく流れを支援する必要があります。
１２．日本の印象は？
日本の人々は親切です。国外で起こっていることに対する関心も高いです。私は人の持つ力を信じているのですが、この日本の人々の関心は人類の開発に大きく影響していると思います。
貧しい国を支援する日本の外交政策はすばらしいです。
お忙しいところ、ありがとうございました。

（原田、山本）



左から　山本　　Lalith さん　　原田

■今後の活動予定

８月１７日(木)　18:30～　定例会
　内容：地球市民どんたく 2006 準備など
　場所：あすみん
９月１４日(木)～18 日(月・祝)
　国際協力フェスタ「地球市民どんたく 2006」
　場所：福岡市役所西側ふれあい広場北側緑地
　　および周辺会場
※（特活）日本ハビタット協会福岡支部と共同でブース出展いたします。
９月２１日(木)　19:00～　運営委員会
　内容：地球市民どんたく 2006 反省など
　場所：あすみん
10 月２日（月）世界ハビタット・デー 2006
10 月 19 日(木)　18:30～　定例会
　内容：NL19 号発送作業
　場所：あすみん
11 月 16 日(木)　19:00～　運営委員会
　内容：未定
　場所：あすみん
12 月 21 日(木)　18:30～　定例会
　内容：未定

※予定は変更になる場合がございます。ホームページ等でご確認の上、ご参加ください。

■編集後記

　久しぶりにこのコーナーを入れました。
５月の運営委員会にて、ＮＬに代表または事務局長のコメントを入れた方がいいのでは？という話が出まして、これを受けまして、このコーナーを復活させました。
　今回のＮＬは、予定していたものが次々と変わり、また、原稿締切日を守れていないこともありまして、５月の会議にてフォームを変更した方がいいのでは？という意見が出たにもかかわらず、前回までのフォームをそのまま使用することになってしまいました。
　次回はもっと魅力のあるＮＬを作るために、もっと余裕を持って臨むべきでは？と思えるものでした。そのためには、総会でも話が出ましたが、もっとＭＬを有効活用して、意見交換を活発にすべきでは？と思います。
（ちょっと厳しいコメントになりましたかな？）
（事務局長　堀）

■事務局よりお知らせ

〈書き損じの葉書を集めています〉

　ご家庭に眠っている書き損じハガキはありませんか？書き損じハガキを捨てていませんか？
　ハビタット福岡市民の会では、書き損じハガキを新品のハガキや切手に交換して、NL や通信の発送など、会の活動に役立てています！
送り先は
　〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
　福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん
　連絡ボックス２号
お問い合わせは
　TEL:　090-6770-2481(代表　牟田)
　　090-1873-6954(事務局長　堀)
　FAX:　0942-41-2080
　Email cnhf@npgo.jp

〈会員・ボランティアスタッフ募集中〉

ハビタット福岡市民の会では、九州唯一の国連機関、国連ハビタット福岡事務所の活動内容を、広く市民の皆さまにお知らせし、より深く理解していただくための活動に協力してくださる会員（総会での議決権を有します。）、ならびに会を運営するボランティアスタッフを募集しています。
　私たちと一緒に活動しませんか？
　皆さまのご参加をお待ちしております。
活動内容
　■ニュースレター取材、作成、発送作業
　■学習会ならびに出前授業の企画、立案、実施
　■ホームページ更新
　■各種イベントの企画運営や支援
　　募金活動、Create Festa、スタディーツアー、
　　世界ハビタットデー、地球市民どんたくなど

〈会費納入のお願い〉

　このニュースレターは、皆さんの会費で発行されています。会費納入による皆様のご支援をお願いいたします。
　年会費　一般 2,000 円　学生 1,000 円
　郵便振替口座　０１７３０－０－７８４３４
　加入者名　ハビタット福岡市民の会

〈ハビタット福岡市民の会チラシ〉

Ａ４一枚の説明用チラシを作成しました。
ハビタット福岡市民の会の説明に活用ください。
下記 Website よりダウンロードできます。

事務局・お問い合わせは

郵便物のあて先
〒810-0041　福岡市中央区大名２－６－４６
福岡市 NPO ボランティア交流センターあすみん　連絡 Box ２号
TEL　090-6770-2481(代表 牟田)
　　090-1873-6954(事務局長　堀)
FAX　0942-41-2080
　　E-mail: cnhf@npgo.jp
URL　http://cnhf.npgo.jp